

○遠野馬、全日本で活躍！

6月5～6日、静岡県御殿場市で開催された第73回全日本馬場馬術大会 Part II S クラスで、遠野産馬のリバティエ（乗馬倶楽部イグレット）が優勝、またゴールドエクスペリエンス（駒立乗馬クラブ）が第3位に入賞しました。



全日本馬場馬術大会表彰式 リバティエ（中央）とゴールドエクスペリエンス（右）



優勝したリバティエと市川順子選手

2012年4月生まれのリバティエは小友町の菊池和^{わいち}一さん（故人）が生産した9歳馬。当時和一さんが体調を崩していたため、母馬ショコラは和一さんの厩舎ではなく「遠野馬の里」でリバティエを出産しました。リバティエは母馬と共に2度の夏山放牧を経験した後、1歳のセリで乗馬倶楽部イグレットに落札されました。リバティエと市川選手を指導する篠宮^{すすむ}寿々海氏は、リバティエはバランスがよく力もあるので、セントジョージ、さらにグランプリに行く能力は十分あると話していました。まだ若いリバティエの今後の活躍が期待されます。

○遠野の名牝

リバティエの母馬ショコラは、昭和60年から遠野で種牡馬を務めた競馬界の名ジャンパー・バローネターフの孫にあたります。セリには上場されずに繁殖牝馬として遠野に残り、多くの産駒を残しました。その中の一頭、リバティエの半兄フリーデン・アポロ（セン11 父：フリーデンスラート JRA日高育成牧場）が2019年の第71回



全日本障害馬術大会の内国産選手権で優勝しています。今回は馬場のグランプリホースであるヴァーリントンWを父にもつリバティエが全日本馬場で優勝という快挙。母馬ショコラはまさに遠野の名牝といえるでしょう。

母馬ショコラと当歳時のリバティエ

2012年5月20日撮影



3位入賞したゴールドエクスペリエンスと柘植和也選手

ゴールドエクスペリエンス（セリ名：フリーライアン3）

父：フリーデンスラート 母：メリーゴーライアン

2008年4月小友町生まれ 生産者：菊池栄喜氏

遠野馬通信

馬産地遠野とホースマンを結ぶ
情報誌

No.56

2021年7月1日